

きたひろスポーツコミッション

【コミッション概要】

構成組織：一般社団法人 北広島町観光協会

設立年次：令和3年4月

SC特徴：きたひろスポーツ（通称：きたスポ）を通じたスポーツとの多様な関りを実現させ、幸福感・満足感を感じる町づくりに取り組んでいる。

H P：無

【主な取組】※2021年度実施事業

①スポーツ大会の開催

●ソフトテニス大会の開催

町内在住であり、アジアチャンプを有するソフトテニスクラブ「どんぐり北広島」他、全国トップクラスのクラブ、団体等が参加する女子ソフトテニス大会の開催。

「ソフトテニスのまち」のイメージ定着・幅広いPRのため、YouTubeを活用したLIVE配信を実施。

●アンプティサッカー交流大会の開催

アンプティサッカー（主に上肢又は下肢の切断障がいの方が行うサッカー。）チームの交流大会を県内初開催。

当町を練習拠点とし活動されている「アフィーレ広島」と日本代表選手を含む全国のチームから参加された選手による混合チームの交流大会の開催。地元の協力により会場の天然芝の管理、屋台の出店もあり、選手・観客が楽しめる環境作りにも取り組んだ。

②トップアスリートとの交流事業・障がい者スポーツ振興

●パラリンピック出場アスリートによる陸上教室の開催

子どもたちへ体を動かすことの楽しさ・素晴らしさを感じてもらうことを目的に、町内在住の2020パラリンピックやり投げ入賞の「白砂 匠庸」さんを講師に、地域の小・中・高校生を対象に陸上教室を開催。

基本的な走り方の指導、ジャベールを活用した楽しい運動、白砂さんのやり投げ実演、義手の紹介など。

●ウォーキングサッカー体験会の開催

障がいの有無に関係なく誰もがともに楽しめる競技「ウォーキングサッカー」を老若男女幅広い層の参加で体験。

走ることを禁止というルール以外にも、試合の参加者に合わせた独自のルール作りをその場で考え、みんなが楽しむための環境作りを実践し、障がいへの理解を深めた。

③スポーツボランティア育成

●若年層から始めるスポーツボランティア育成

町内の中学生を対象にスポーツボランティアの教室を開催。スポーツボランティアとは何か、どんなことをしているのか。

スポーツに携わる方法として、「する」以外でも「ささえる」という方法もあり、非常に重要な役割を担っており、自分自身のやりがい・生きがいにも繋がることを知ってもらい、スポーツまちづくりの未来を担う人材育成を行った。

